

【取組内容①】個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

学習活動において、探究的な課題設定からの授業改善

本校では、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を図るために、学習活動において、ルーブリックとセットにした探究的な課題（資料A・C）を設定し、授業改善に取り組んでいる。このような課題を設定することで、生徒は課題解決に向けて、各自で各時間の「めあて」などを設定し、GIGA端末を用いて個別最適な学びを進めている。

また、このような課題を解決するため、さらにはよりよい答えを出そうとする中で、Jamboard（資料B）やChatなどを用いて他者参照を行い学習を進めている。

このように、教科の学びにおいても探究的な課題を設定することで、生徒はGIGA端末を用いて個別最適に学びをすすめ、よりよい答えを導こうと主体的に学びを進めることができる。また、GIGA端末だからこそ自分の必要なタイミングで他者を参照して学びを進めることができる。

「不便」の価値を見つめ直す

学習課題
文章に書かれた内容をスライドに分かりやすくまとめ、事例を示し根拠を明確にして意見をまとめよう。

これが正しくまとめられたら、正しく読み取れ、自分の考えをもつことができている

資料A

「不便」の価値 1組11～

不便の定義 利便性があるものに比べて、利便性が少ないこと

利便性の定義 手帳もかからず持ち運びしやすいこと

①移動方法 不便の良い面 移動が楽で、持ち運びしやすいこと

②施設デザイン 身体能力の低下を助ける

③生産方法 作業量の増加を助ける

「不便」であることは人間の意欲を向上させる効果もある

資料B

単元名	学習課題	設定されたルーブリック
箱ひげ図	好きなデータを分析して発表しよう	A：作成した箱ひげ図を用いて、箱ひげ図に関する用語を用いながら分析することができた B：作成した箱ひげ図を用いて、分析することができた C：分析ができなかった

資料C